

2019年10月1日

## 臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センターリウマチ科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に診療記録の情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名] リウマチ性多発筋痛症患者の臨床経過と長期治療に関与する因子

### [研究の背景と目的]

リウマチ性多発筋痛症の治療薬は副腎皮質ホルモン(プレドニゾロン)です。この薬を内服することで、症状が改善し、1年程度で寛解(病気がしっかりよくなること)する患者さんがいる一方、薬を減らすと症状がぶり返し2~3年治療を続けている患者さんもいます。治療開始時に、治療に要する期間が予測できれば、副作用を減らす薬を最初から併用するなど、治療を工夫することができます。

本研究ではリウマチ性多発筋痛症患者さんの治療の予後を予測する因子を探します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる方

リウマチ性多発筋痛症の患者さんで2011年4月1日から2019年7月31日に当科を受診した患者様。

#### ●研究期間:倫理審査承認日から2020年4月30日

#### ●利用する診療記録の情報

診断時と経過中の採血結果、治療薬の名前や量、症状について診療記録に記載されている情報をまとめます。

#### ●情報の管理: 個人情報削除、研究責任者が情報を管理します。

[研究組織] 研究責任者:東京医科大学八王子医療センターリウマチ科教授 青木昭子  
(科長)

### [個人情報の取扱い]

診療記録に記載されている情報は、個人の氏名を削除して集計し、研究に用いる情報に個人情報は含まれていません

[問い合わせ先] 東京医科大学八王子医療センターリウマチ科 青木昭子(科長)  
電話 042-665-5611 内線 5227